

しんあい

季刊

2003年(平成15年) 12月1日発行 第52号 ◆編集と発行 しんあい編集部

社会福祉法人 多摩同胞会
〒183-0042 東京都府中市武蔵台1-10
TEL 042-366-0080
特別養護老人ホーム 信愛泉苑
高齢者在宅サービスセンター 泉苑ケアセンター
養護老人ホーム 信愛寮
小規模特別養護老人ホーム 信愛緑苑
府中市立特別養護老人ホーム あさひ苑
府中市立あさひ苑高齢者在宅サービスセンター
神田居宅介護支援センター
子ども家庭支援センター しらとり
母子生活支援施設 白鳥寮
母子生活支援施設 東京都網代ホームきずな
母子生活支援施設 中野区さつき寮



◀ いつもは車椅子の生活のKさん。

余暇活動で、近くの府中の森公園に行った時の、立って歩いた記念すべき写真です。このあとKさんは嬉しさのあまり泣いてしまいました。(緑苑)

「さあ、今日はいっぱい遊ぶぞ！」▶
今度ディズニーランドへ行った時にはシンデレラ城の前で写真撮りましょうネ!!

(しらとり)



介護に関するご相談は無料ダイヤルで!

- 泉苑在宅介護支援センター
☎ 0120-6540-24
老後支援 24時間
- あさひ苑在宅介護支援センター
☎ 0120-2942-24
福祉にっこり24時間

● 特集

スウェーデン留学雑記

● 施設だより

～今年の重大ニュース～

多摩同胞会のホームページを開設しています。 <http://www.tama-dhk.or.jp/>をご覧ください

スウェーデン留学雑記

鈴木志乃(あさひ苑 サービス調整室)

みなさんは、スウェーデンという国名を聞いて、何を思い浮かべますか？

オーロラ？白夜？サーモン？長靴下のピピ？ニルスの不思議な旅？アバ？グレタ・ガルボ？イングマール・ベルイマン？ボルボ？北欧デザイン？グループホーム？地方分権？？？

私は、2002年8月から2003年6月までの10ヶ月間、法人を退職させていただき、スウェーデンのヨーテボリ大学院(Göteborg University)のInternational Master of Science in Social Workという留学生を主な対象とする社会福祉学専攻のコースに留学しました。ヨーテボリは首都ストックホルムに次ぐ、スウェーデン第2の都市です。ストックホルムが政治の中心であるのに対し、西海岸に位置するヨーテボリは商業的な中心地として発展してきた特色があります。

今回10ヶ月という期間を実際に生活できたことで、それまでの短期間の視察や旅行では見えなかったことを体験し、発見することができました。例えば、スウェーデンの施設では走るスタッフを見かけることはありませんが、それは社会全体の時間の流れが日本と異なり、ゆっくりであることが大きな背景となっています。スウェーデンではバスや路面電車に乗ろうとしているとき以外には、街中を走るという事はあり得ません。また高齢者福祉施設の広い個室などの居住環境の良さも、住宅政策の違いや一般住宅の居住環境などと併せて考える必要があります。さらに社会福祉現場での業務分担のあり方には

教育のあり方が密接に関係しています。
みなさんと共有し、一緒に考えて行きたいことは山のようにたくさんあるのですが、今回はそのうちの一部について写真を中心に伝えたいと思います。



高齢者や障害者が使いやすいように、機能がシンプルで、数字が大きく表記され、ボタンも大きな電話機。「特別な住まい(Sarskilda boendeformer, special forms of accommodation)」と呼ばれる高齢者福祉施設の居室も含めて、留学中に訪問した全ての高齢者の自宅において使用されていました。安全アラームは、これらの一般電話に機器を接続することで、時計型もしくはペンダント型のボタンを押すだけで、いつでもアラームセンターに連絡することが可能になります。



痴呆性高齢者を対象としたグループホーム(GH)のリビングルーム。撮影者の後側に台所と食事用のテーブル、テレビのあるリビングルームがあります。それらはひとつながりの広い空間になっており、入居者がどこにいてもスタッフの目が届くようになっています。日本では入居者と一緒に料理することがGHの主要な活動のひとつになっていますが、写真のGHのスタッフにインタビューしたところ、「食事の支度を一緒にできる入居者はいない」とのことです。

ヨーテボリ大学社会福祉学部校舎の廊下の一角。休憩時間や放課後の団欒の場、昼食をとる場所、グループで課題に取り組むための作業場、読書や自習の場、先生との話し合いの場等々に活用されています。大学だけでなく、福祉施設でも、オフィスなどでも、このようなパブリックとプライベートの間ともいべき空間が上手に配置され、意思疎通や憩いの場として機能しています。個を尊重する故に、共同空間が意識的に設けられているのだと推測します。



高齢者福祉施設や高齢者住宅のエレベーター内には、鏡や折りたたみ式の椅子がついていることがあります。日本では、車椅子の方が乗りやすいように背面に鏡がついていることはありますが、写真のような折りたたみの椅子はほとんど見かけません。また、トイレの緊急呼出ボタンは、腰高と床上10cmの高さに複数箇所設置されています。これは杖の先を利用することや転倒時の押しやすさを考慮しているためです。このような小さな工夫が安心できる生活を支えています。



スウェーデンでは一般的に洗濯機は各家庭にあるのではなく、建物の地下にあり共用なので、共同住宅には洗濯室予約ボードがあります。足腰の弱くなった高齢者がまず必要になるのが、洗濯と買物の援助です。日本の洗濯機と違い、洗濯に1~2時間、乾燥に約2時間半かかるので、ホームヘルパーの洗濯援助には、洗濯物を地下の洗濯室に運び洗濯機に入れる洗濯終了時刻に乾燥機に移動する乾燥終了時刻に洗濯物を利用者の家まで届け、次回の予約を入れるという3回の訪問が必要になるのです。



ある老人ホームの廊下の一角に設けられた図書コーナー。スウェーデン人は、読書をとっても好むように見えます。夏は公園で日光浴しながら、冬は暖かい屋内で、読書する人々を見かけました。また毎年2月には書籍のセールがあり、真偽は不明ですが、スウェーデン人は1年間に読む書籍の8割をその時期に購入するといわれているほどです。ただし、この老人ホームでこれらの図書がどのように活用されているかは不明です。

約20名の同級生のうち、日本人は私1人だけで、他はスウェーデン、南アフリカ、ルーマニア、フィリピン、中国、キューバ、ラトヴィア、アルメニア、ヨルダン等々の各国から集まっています。同級生達のほとんどが自国で社会福祉関連の仕事をしており、ストリートチルドレンのためのNPOや日本の厚生労働省にあたる中央省庁に勤めている同級生から、世界各国の「社会福祉の現場」の話を知ることができただけでも貴重な勉強をすることができました。別の機会があれば、同級生から聞いた話などもみなさんにお伝えしたいと思います。



留学中に毎日書いていた写真付きのweb日記です。よろしかったらご覧ください(上記は左から冬、春、夏、秋、冬の光景です)。something about Sweden:<http://homepage2.nifty.com/shino/>

今年初めての 地域合同ユニカール大会!

皆さんは「ユニカール」というゲームを知っていますか? 取っ手のついた重石をまあるい点数の付いた目標に向かって振り子のように投げ点数の高い方が勝ち! というゲームです。このゲームを信愛寮のソフトスポーツサークルで行っていますが、信愛寮をもっと近隣のみなさんに知っていただくということで、今年初めて、緑町自治会、地域デイを含む地域合同ソフトスポーツ大会を勝ち抜き戦で行いました。今回のゲーム大会は残念ながら緑町自治会チームの皆様に負けてしまいました。しかし、「またやりたい!」という入居者の希望もあり、更にユニカールの練習に磨きがかかっている信愛寮チームなのでした。
(介護員 大川 淳)



これがユニカールです。

2003年重大ニュース

さあ皆さん今年もあとわずか!
わが法人の各施設ではこんなことがありました。
皆さんの重大ニュースは何ですか?

白鳥に住むお母さんに聞いた 重大ニュース!

今回は白鳥寮のお母さんにアンケートを取り、集計したものを発表します。みなさんからほのぼのとしたニュースがたくさん聞きました!
*誕生日会で、久しぶりにお酒を飲んだこと。
職員と楽しく食事ができたこと。手作りのパーサーカードが嬉しかった。
*親子レクリエーションでサーカスに行った時、大きな動物達に大喜びしたが、大きなキリンがよだれを最前列のお客にばたばた落として、お客の悲鳴があがっているのを見て、「うしろでよかった」と思った。

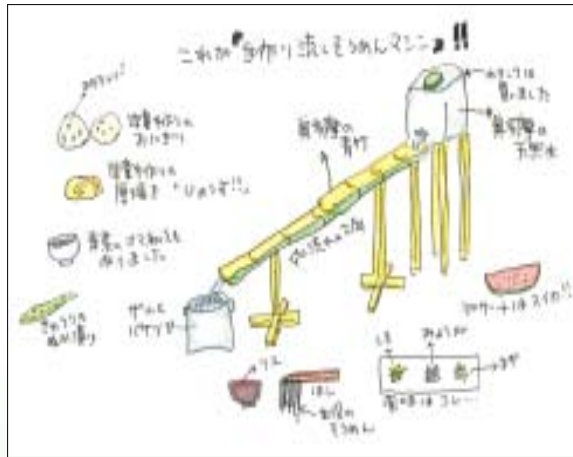
白鳥寮

*おまけの話題
・上の階から布団が飛んできた。
・K職員がスリムになる。
(保育士 松本 美香)

泉苑だからできること

8月に泉苑と白鳥寮との合同企画で、流しそうめんと炊き込み御飯を作りました。子どもたち8名と地域のボランティア9名、泉苑と白鳥寮の職員6名で食べただけでなく、「作った!」です。
竹製の流しそうめんの台も手作り、学童は炊き込み御飯のおにぎりを握ったり、厚焼き玉子を焼いたりとお奮闘!!
大騒ぎの最後は、ボランティアさんの演奏と学童の楽器演奏で幕となりました。老人施設と母子生活支援施設を持つ当法人ならではの企画でした。
(相談員 高谷 敦生)

泉苑



2003年の2大ニュース

★幼児の部「トトロだあ!」
遠足で「三鷹の森ジブリ美術館」へ行ってきました。この美術館は、なかなかチケットが取れず、今年こそ! と実現した、お楽しみ遠足でした。入り口で迎えてくれた「大トトロ」に「トトロだ!」と大感激。夢中でネコバスにようじ登り飛び跳ねて遊ぶ子どもたちを見て、「何で大人はネコバスに乗れないの!」と子どもがとても羨ましく思えたひとときでした。



★学童の部「トッジボール大会」

トッジボール大会にしろとり・さつき合同チームとして参加。低学年から高学年まで一緒にチームを作り、夏の大会に向け各施設で練習を積み重ねていました。今年から1年生になった子ども、小さいころから憧れていたので、「レギュラーになりたい!」と練習に励み、6年生の子は「今年が最後だから!」など、試合には負けてしまったけれどそれぞれ、よい思い出になりました。

さつき寮

(少年指導員 市村英貴)

2003年ニュース

今年のきずなも盛りだくさんでした。その一部を御紹介します。
*母の日ミニ運動会: テカパンレースやドッジボールなどみんなでいい汗をかきました。
*川遊び: 冷夏のため、週3回の楽しみだった川遊びが夏休み中3回しかできませんでした。やはり夏は暑くなくちゃ、ですね。
*ドッジボール: 東京都児童福祉施設競技大会ドッジボールの部でこの数年「参加すること」に意義がある「感じ」だったので、予選リーグの2戦とも勝利をおさめました。残念ながら得失点差でトーナメント進出はできませんでしたが、子どもたちには大きな自信となったことでしょう。
*電波時計: 屋外用電波時計の寄贈をいただき、庭にいても正確な時間がわかるようになりました。
来年も盛りだくさんの楽しい1年にしたいですね。
(少年指導員 小島宗宏)

きずな

十周年!

早いもので今年も12月。それは僕の誕生日が近づいていることを示している。「また誕生日か! 1回へい! 飛ばせな! かな!」「あ、う、藤崎! お前の誕生日なんてどうでもいいんだよ。今年のお前さんの重大ニュースを書け!」って「す、すいません福岡副施設長。え、そうですわね。やはり今年のお前さんの重大ニュースはなんと、言っても満十歳を迎えたこと! これですわね!」そう、あさひ苑は今年で十周年になりました。僕がまだ小さかった頃(?) からたくさんのお年寄りの生活を支えてきました。それは逆にたくさんのお年寄りにあさひ苑が支えられてきたことでもあります。共に歩んできた十年。これからもいつまでもお互いの記憶に刻まれていくはずですよ。「十周年の納涼祭は盛大でしたね、福岡副施設長。この写真を見て下さいよ。」「盛り上がりたな!」皆さん、とっても楽しんでいましたよ。
あさひ苑って心が和む所ですね! 「人の輪の賜物だな」
(ホーム介護員 藤崎達也)

あさひ苑



